

# 木炭關係資料

# 1 木炭の消費・生産等の推移

## (1) 戦後の消費量、生産量、輸入量の推移

(トン)

	S25	35	45	55	H2	12	17	21
消費量	2,002,708	1,522,476	290,700	92,654	103,094	160,348	155,076	149,469
国内生産量	2,002,390	1,503,636	275,036	74,278	83,225	67,427	44,919	34,449
輸入量	322	20,508	15,765	18,468	19,905	93,119	110,660	115,487

資料: 林野庁業務資料及び貿易統計 ヤシ殻炭は除く。

## (2) 戦後の消費額、生産額、輸入額の推移

(千円)

	S25	35	45	55	H2	12	17	21
消費額	38,724,588	56,510,237	15,470,721	11,768,005	12,522,567	13,883,150	11,616,097	13,013,336
国内生産額	38,712,206	56,536,714	15,090,400	10,943,601	11,568,275	7,214,689	4,491,900	4,478,370
輸入額	13,329	15,671	389,236	839,618	977,708	6,767,824	7,433,869	8,795,210

資料: 林野庁業務資料及び貿易統計 ヤシ殻炭は除く。

## (3) 戦後の都道府県別木炭生産量の推移(上位10位)

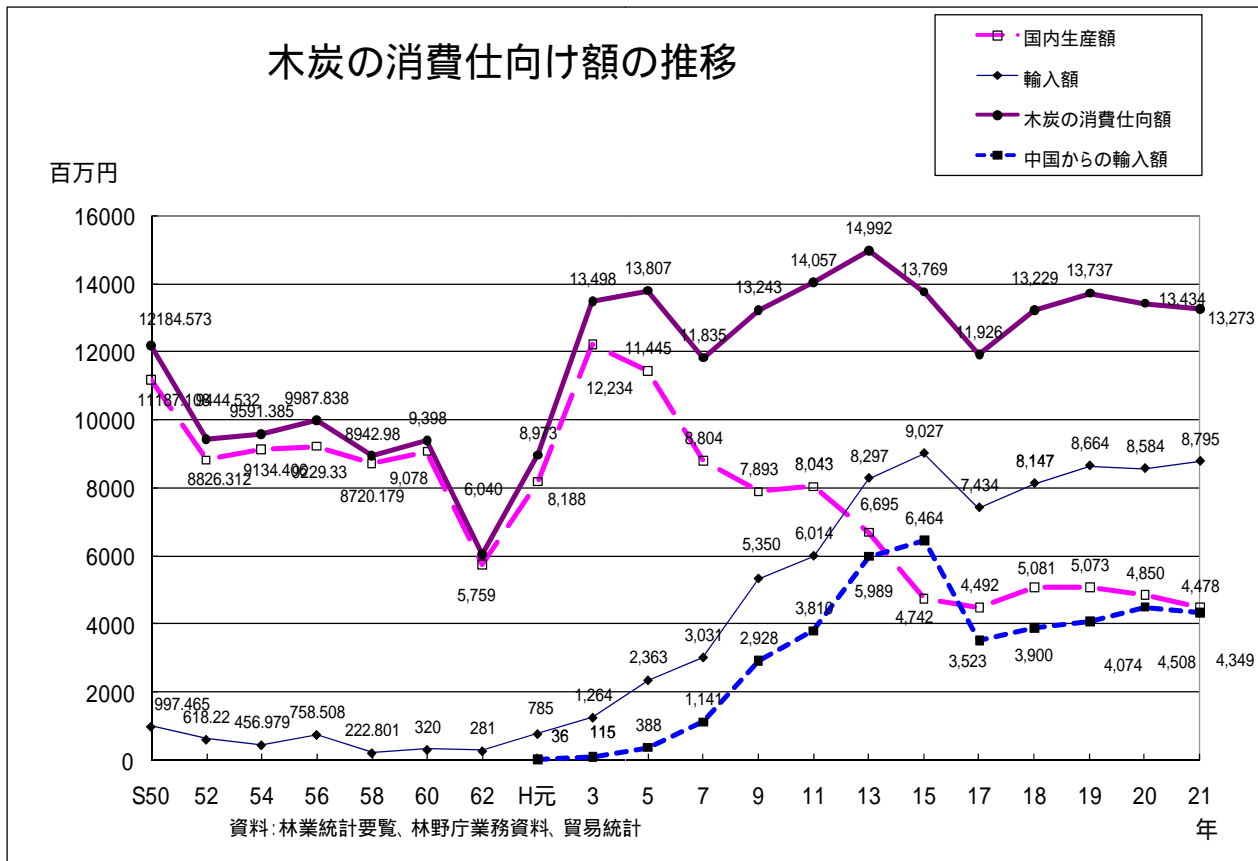
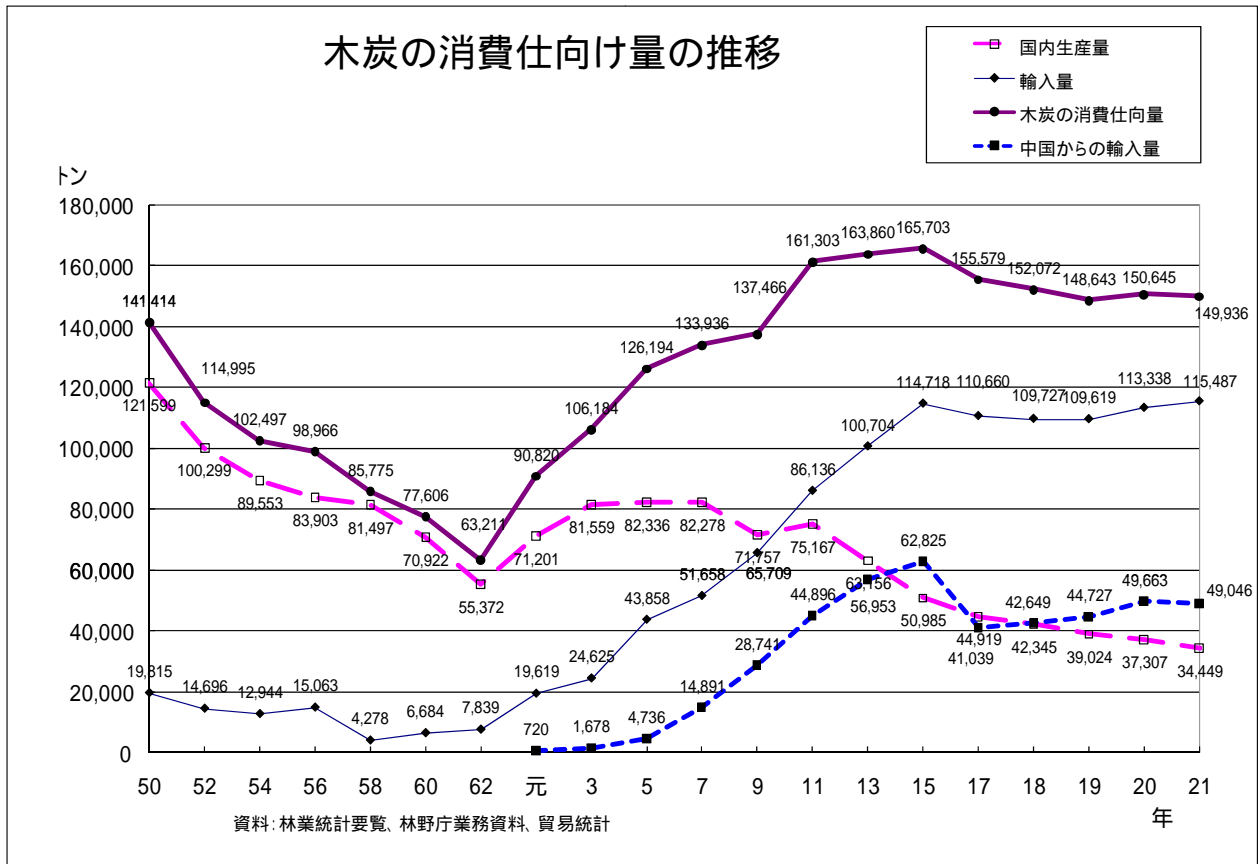
(トン)

S 25		S 35		S 45		S 55		H 2		H 12		H 17		H 21	
岩手	151,449	岩手	134,774	岩手	20,558	岩手	5,716	岩手	9,018	岩手	6,711	岩手	4,934	岩手	4,447
福島	133,759	高知	106,855	福島	19,440	北海道	3,133	栃木	7,927	北海道	6,194	島根	4,429	島根	3,790
高知	116,756	島根	77,759	北海道	11,275	和歌山	2,576	北海道	3,434	島根	5,537	北海道	3,669	北海道	2,714
島根	83,443	福島	76,579	高知	9,498	高知	2,503	奈良	3,386	福島	5,084	岐阜	2,957	奈良	2,158
北海道	77,287	北海道	61,314	島根	8,558	福島	2,489	鳥取	2,629	奈良	4,844	福島	2,931	岐阜	1,900
岐阜	69,751	鹿児島	55,749	新潟	8,262	新潟	1,705	和歌山	2,593	岐阜	3,348	奈良	2,249	鳥取	1,751
広島	67,049	宮城	50,290	宮城	7,736	秋田	1,464	福島	2,383	宮崎	3,312	鳥取	2,207	和歌山	1,701
鹿児島	63,921	山口	45,599	鹿児島	6,142	宮城	1,209	長崎	1,849	愛知	3,108	和歌山	1,835	福島	1,600
長野	58,870	新潟	45,175	山形	5,509	石川	1,028	大分	1,774	鳥取	3,003	宮崎	1,669	宮崎	1,318
宮崎	57,149	愛媛	44,347	秋田	5,201	栃木	862	宮崎	1,752	高知	2,205	高知	1,607	長野	1,275
全国計	2,002,390	全国計	1,503,636	全国計	275,036	全国計	74,278	全国計	83,225	全国計	67,427	全国計	44,919	全国計	34,449

資料: 林業統計要覧、林野庁業務資料、木炭統計資料((社)全国燃料協会)

黒炭、白炭、竹炭、オガ炭、粉炭の合計

#### (4) 木炭の消費仕向け量及び消費仕向け額の推移

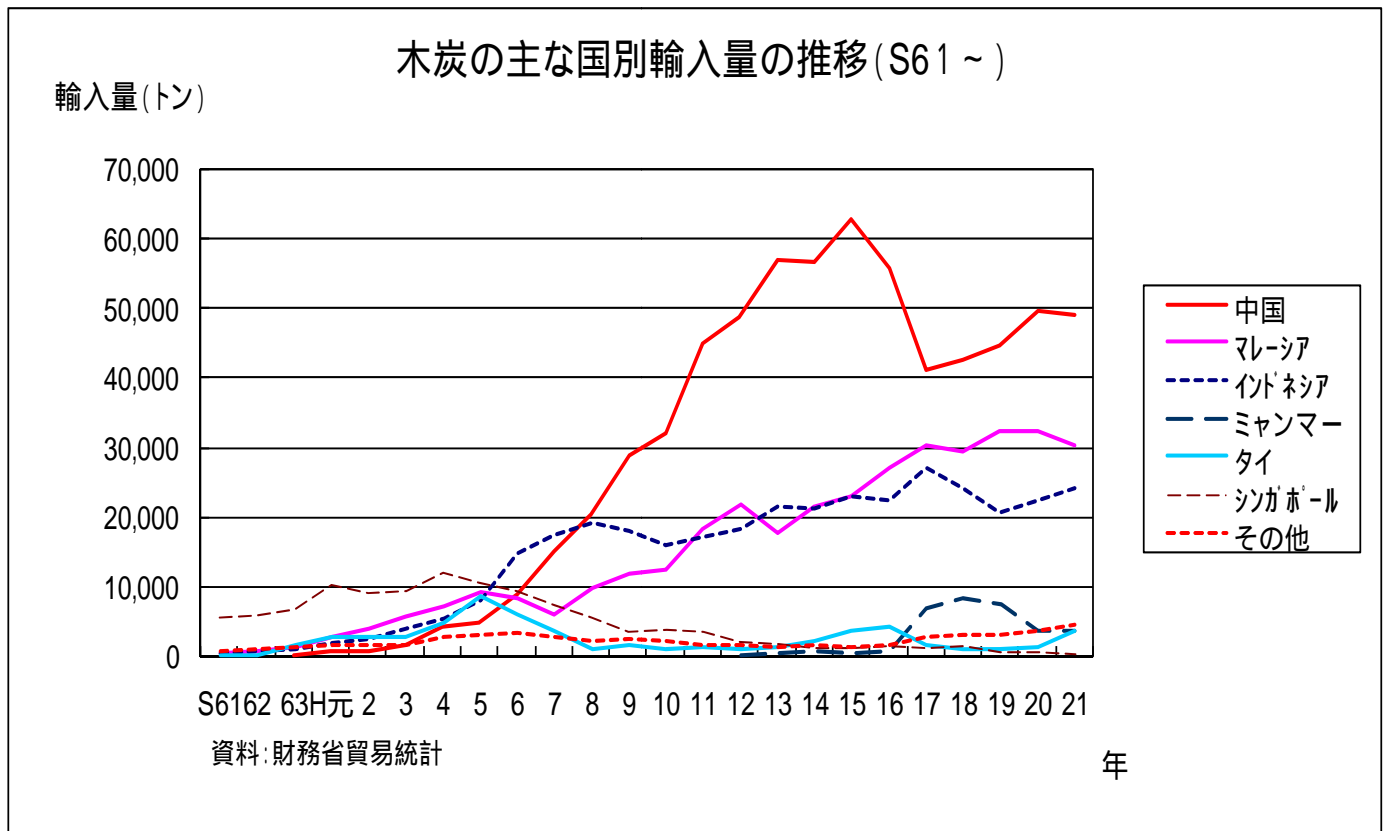


## 2 木炭の新用途への使用事例

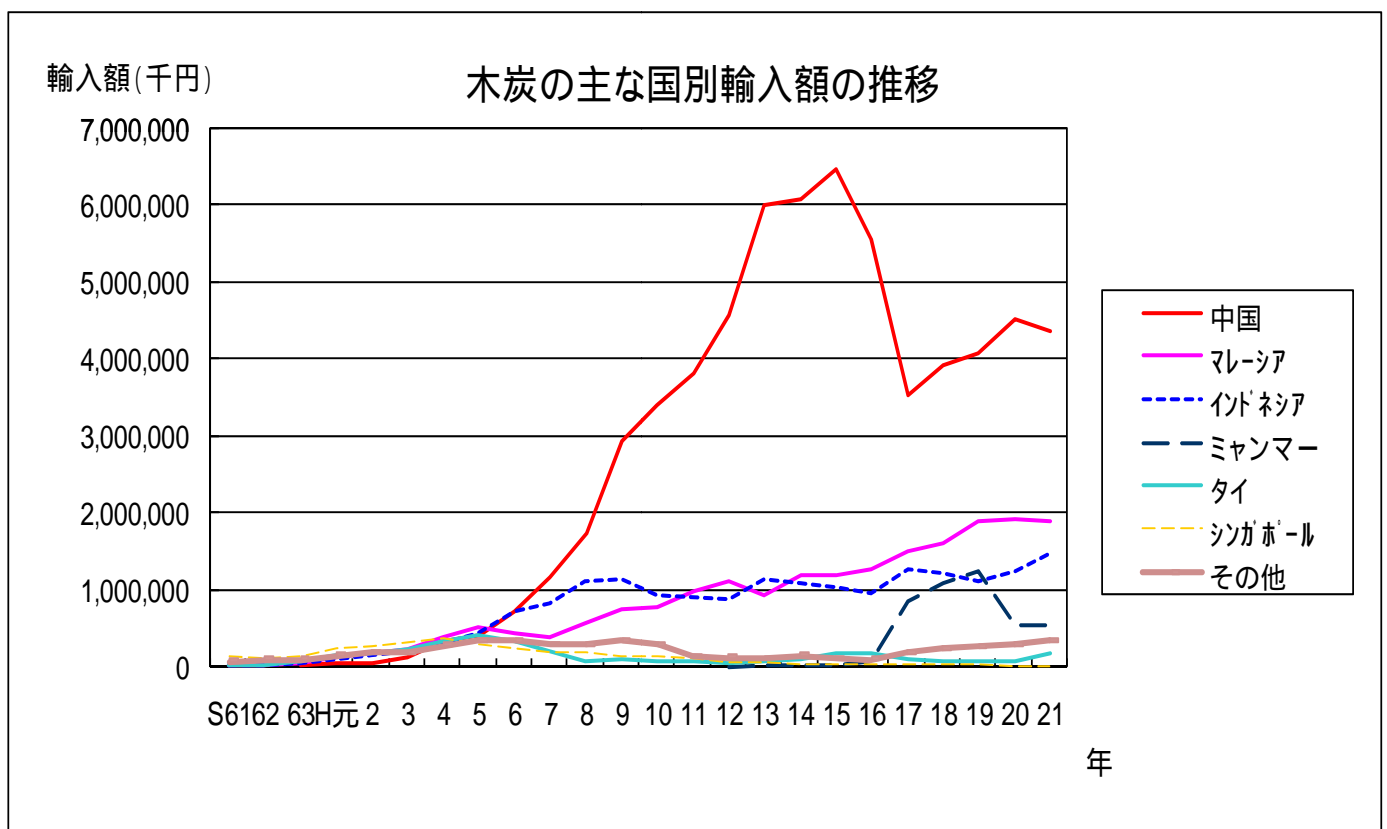
用途	内容
土壌改良用	稲作、畑作、施設園芸、果樹等への施用により、土壌の透水性、保水性、通気性の改善のほか土壌微生物の活性化等の効果がある。
家庭調湿用	家屋床下、押入への利用により、木炭の水分吸収作用による湿度の低下、木材(資材)の含水率の低下、かび、微生物を調整する作用があり、生活環境の改善を図るとともに腐朽を防止する効果がある。
水質浄化用	流水路に木炭を敷設すると、木炭の吸着効果により不純物を除去し、孔隙に住み着いた微生物による汚濁物質を分解する機能もあり、河川等の水質の浄化が図られる。
消臭用	庭等において、木炭の孔隙に臭いのもととなるアンモニアや亜硫酸等の分子が吸着されることを活用して消臭用として用いられる。
鮮度保持	生鮮果菜類が自ら発生させるエチレンガスを吸収し、熟成老化を防ぐ。
飲料水用	木炭の吸着性や孔隙に住み着く微生物の浄化能力を活用し、水道水を濾過することで市販の浄水器と同程度の効果が期待できる。
炊飯用	よく洗った木炭(硬い備長炭などがよい)を炊飯時に米とともに炊き込むことにより、「ふっくらと炊きあがる」等の効果がある。
寝具用	炭の多孔質性から通気性、頭寒、除湿などの効果が期待できる。また、木炭粒によるマッサージ効果やリラクゼーション効果も期待できる。

### 3 木炭の主な国別の輸入量及び輸入額の推移

#### (1) 主な国別輸入量の推移



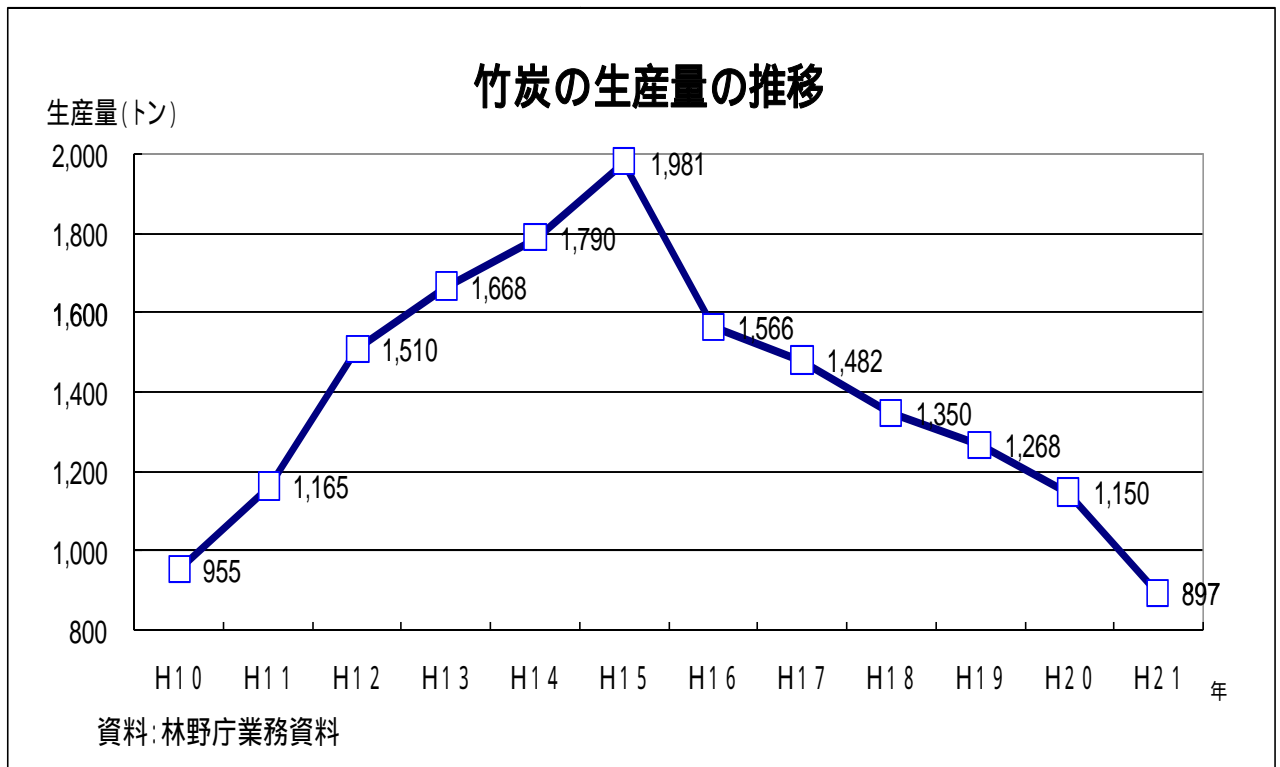
#### (2) 主な国別輸入額の推移



## 4 竹炭の生産量

- ・竹炭の生産量は、平成15年をピークに減少傾向で推移
- ・おもな用途は、土壌改良資材、調湿材、水質浄化及び装飾用など
- ・福岡や熊本等の九州地域、山口などが主要な産地

### (1) 竹炭の生産量の推移



### (2) 都道府県別生産量

竹炭の主な産地及び生産量(平成21年)

順位	都道府県名	生産量(トン)
1	福岡	302
2	熊本	65
3	山口	64
4	京都	52
5	鹿児島	33
6	大分	29
7	栃木	25
8	静岡	22
9	福井	22
10	福島	19

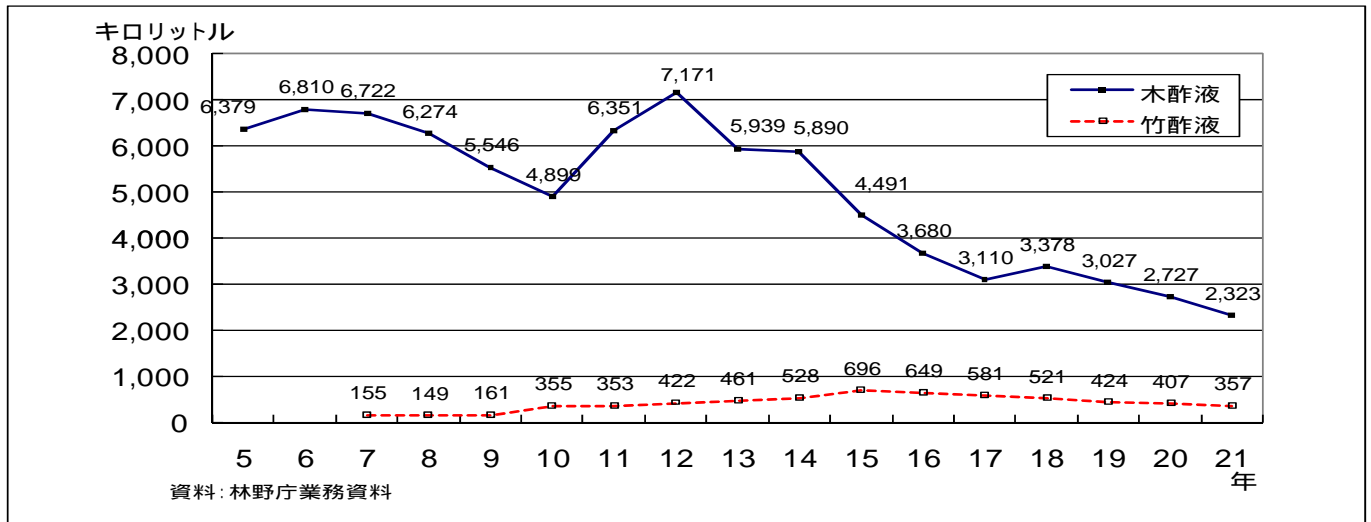


資料: 林野庁業務資料

## 5 木酢液、竹酢液

- ・平成15年の農薬取締法の改正により、特定農薬(特定防除資材)制度が設けられ、関係業界からの要望により、木・竹酢液が特定農薬として指定されるよう取組むこととなり、現在指定に必要なデータ等を収集(農薬的に使用しても違法ではないが、農薬的な効果を謳っての販売は違法)
- ・成分等の安定した木竹酢液を提供するため、木竹酢液認証協議会を設立し、木竹酢液認証システムの運用を平成17年から実施
- ・木酢液の生産量は、平成12年をピークに減少し、竹酢液の生産量は、平成15年まで増大していたが平成16年から減少
- ・主な用途は、土壌改良資材、消臭用など
- ・主な産地は、木酢液は岩手県、宮崎県、福島県、竹酢液は大規模な生産者による香川県、熊本県、福岡県など

### (1) 木酢液・竹酢液の生産量の推移



### (2) 都道府県別生産量

木酢液・竹酢液の主な産地及び生産量(平成21年)

木酢液			竹酢液		
順位	都道府県名	生産量 (キロリットル)	順位	都道府県名	生産量 (キロリットル)
1	岩手	790	1	香川	129
2	宮崎	342	2	熊本	25
3	福島	176	3	福岡	23
4	静岡	162	4	福井	21
5	熊本	120	5	鹿児島	20
6	鹿児島	107	6	京都	16
7	北海道	103	7	三重	11
8	岐阜	74	8	福島	10
9	宮城	67	9	宮城	9
10	長野	66	10	島根	9

資料: 林野庁業務資料

(3) 木竹酢液の認証状況

(品目)

木酢液	竹酢液	蒸留木酢液	蒸留竹酢液	計
44	26	13	15	98

資料: 木竹酢液認証協議会資料 平成22年8月末現在

認証マーク(平成18年7月14日商標登録済み)



6 木炭の流通経路

